



### 鈴木えつお

後期高齢者医療保険料一国の軽減制度廃止による大幅値上げ許さず保険料の抑制を

**問** 後期高齢者医療の保険料が今年度へ続き来年度も大幅値上げになる危険がある。国の低所得者向け保険料軽減制度が廃止されるからである。75歳以上の55%の方が所得セロの低所得者であり、都の基金の活用も含め保険料値上げ抑制を働きかけてほしい。

**答** 必要な財政措置等については、引き続き国や都に求めていくことになっており、26市共同してお願いしていく立場に変わりはない。

**住宅に困っている高齢者のために、引越先の相談や家賃助成などをすすめるべき**

**問** アパート暮らしの高齢者3人から引越越し先の相談を受けた。都営住宅を申し込んでもなかなか当たらない。不動産屋さんで年齢を言ったとたんにダメダメと断られたとのこと。法では保証料や家賃の低廉化に国等が補助するところがあるが具体的な内容について伺う。

**答** 東京都の生活支援付すまい確保事業は、住まいの確保と見守り等生活支援を一体的に提供する区市町村の取り組みを支援する補助事業であり要配慮者の家賃債務保証料や家賃の低廉化の取り組みに対し補助を行う。市ではこの補助を活用し住まいの相談窓口事業を実施した。

**階段の両側への手すり設置や入口の自動ドア化など公共施設のバリアフリー化推進を**

**問** 南部地域センター入口の階段は左側しか手すりがないので真ん中にもつけてという要望がある。西河原公民館ホールの舞台階段への手すり設置や市役所食堂入口の自動ドア化の要望もある。ぜひ改善してほしい。

**答** (南部地域センター) 全体的な財政状況を踏まえ優先順位をつけて進める(西河原公民館)利用者・専門業者等と協議を進めたい(市役所食堂)改修工事に合わせて引き戸に改修、取手も改善、条例には適合。



### 小野寺克己

洪水等からの「逃げ遅れゼロ」を目指す要配慮者利用施設の浸水対策について

**問** ①多摩川の浸水想定区域の情報をもとに洪水などで浸水した際の水面から地面までの深さを示す「浸水深」。この洪水標識を「まちなか」の電柱に設置することで確実な周知につながると思うが市の見解は。

**答** ①現在、避難所等案内板を順次設置中。案内看板や電柱巻き付け広告への浸水深の標記を継続して検討。②次年度より個別計画策定検討予定。より多くの避難行動要支援者が手上げ方式名簿登録できるよう制度周知に努める。

**未来の宝である子どもたちの立場に立って、子ども養育支援等の子育て環境の充実について**

**問** ①まちの未来でもありお子様の立場に立って支援をしていく事が必要。養育費や面会交流等の実施について、市の見解を伺う。②養育費と面会交流等の取り決めに関する合意書や手引きを離婚届とともに配布・活用することで啓発が有効と考えるが、市の見解を伺う。

**答** ①離婚後も定期的に交流することは、子どもの大きな力になる。親として子どもの成長を共有できる支援を他市の取り組みも参考に、今後検討していく。②養育費や面会交流は、子どもの成長を支える大切な制度。手引きの配布など周知を検討していく。③子育て世代はスマホ等を利用することが多いと考えられる。デジタルパスポートの積極的な活用周知を広報等で行っていく。



### 石川和広

誰もが安心して暮らし続けられる 狛江の実現に向けて

**問** ①単身高齢者宅において、施設されているなど安否確認が困難な場合の対応は。②単身高齢者へ向けての「緊急時安否確認かぎ預かり事業」に取り組む自治体等も見られるが、狛江市においても検討できないか。

**答** ①緊急性が高い場合は室内に入り安否確認を行う場合もある。②本事業も含めて市のあるべき安否確認の姿を検討する。③運用面について検証すべきこともあり調査・研究したい。④歩道の安全性向上に配慮した補修工事事業に向け都と協力していく。

**さらなるごみ減量及び資源化とごみ処理効率化の推進に向けて**

**問** ①ごみ処理における現状の課題は。②焼却残さの増加に対する対応への取り組みは。③安定的なごみ処理体制の維持と対策についての方向性は。④「電池内蔵充電式小型家電の収集方法」や「焼却残さの減量と資源化の両立」については、どのような想定にたち、どのように進めていく方向性なのか。

**答** ①電池内蔵充電式小型家電による発火と、灰溶融施設休止による焼却残さの増加。②4R推進とガラス・陶磁器類の資源化。③不燃ごみから収集区分を変更し、発火防止と資源化を図る。④収集重量に応じた市の費用負担が発生。電池内蔵充電式小型家電は有害ごみ、ガラス・陶磁器類は資源物のビン類として収集し、市内に保管。市外で資源化。



### 亀井和美

児童・生徒の健やかな成長 重すぎる通学カバンに中学生が悲鳴

**問** ①「脱ゆとり教育」が子ども達に与えた影響②「脱ゆとり教育」の狛江市におけるメリット・デメリット③教科書分厚く大判化。小学1年生・中学1年生の悲鳴に対する認識④アクティブラーニングの改善点、これまでとこれから⑤新学習指導要領実施の教育課程における変更点⑥新学習指導要領実施に向けて、今後の方向性⑦小中学校における今年度のインフルエンザ対策。

**答** ①学習到達度調査の全分野で上昇傾向②学校の特徴に応じた教育活動等。成果に繋がらないとの指摘もある③重量化による負担は認識しているが可否判断力を養うため必要④問題発見・解決の場面を設定し、思考・判断等が発揮される経験を取り入れる⑤道徳等は先行実施、小学校外国語は平成32年度から⑥外国語活動充実のため時間確保⑦うがいや手洗い指導の徹底と、学校への注意喚起。

**シティーセールスについて 狛江の魅力発信、議場で「届け出挙式」を**

**問** ①狛江ロケーションサービスのこれまでの経緯②撮影支援実績③ロケ支援事業推進のため、これまで行なって来た具体的な取り組み④今後さらに推進を図るために必要な取り組み⑤狛江ロケーションサービス導入によるメリット⑥ロビーや議場での届け出挙式は可能か⑦市に提出される婚姻届出数⑧オリジナル婚姻届の進捗状況と色やデザイン。

**答** ①平成27年4月に狛江市観光協会内に立ち上げ誘致支援②受注件数H27、39件、H28、55件、H29、10月まで58件③施設管理担当職員向け研修やロケ実績の展示実施④ロケ物件の登録件数増や撮影隊への情報発信⑤職員の負担減、歳入増、市のPR、地域振興等⑥庁舎管理規則の条件を満たせば可能⑦昨年度は423件⑧官民協働、広告協賛費で作成。水色や緑色を基調、音符や楽器を配したデザイン。今年度中に配布予定。



### 佐々木貴史

学校給食について 「子どもの貧困と「食」について」

**問** ①健康な生活を送る上で欠かせない食。だが、経済的に困窮している世帯の子どもは、そうでない世帯の子どもに比べて「朝食を食べない」「バランスの良い食事ができない」など栄養状況に格差が生じており、学校給食はそういった栄養の格差を是正する上で大きく貢献しているとの報道。そこで給食の食残しの現状と課題は②給食費徴収業務の現状と取組は③給食費の公費化への見解は。

**答** ①家庭で食することが少ない料理を提供した日に多くなる。栄養士が給食の時間に直接生徒と話をすることが難しいことが課題②小学校は校長の私費会計で徴収業務は各学校。中学校は学校教育課長の私費会計で徴収業務は給食センター③総合教育会議において市長と教育委員会で協議・調整し、多くのメリットがあると確認され、公費化に向けて必要な調整を担当部で詰めることとなった。

**安全・安心なまちづくりについて**

**問** ①多摩川六郷排水樋管での緊急用河川敷道路の工事が施工の概要は②多摩川土手天端舗装後の利用者の声は③保水性舗装の特徴は④保水性舗装の効果については体感ではなく科学的根拠を持った数値を得る検証が必要と考えるがこれへの見解は⑤ここ数年、周辺の道路整備により市内道路にも交通量増や渋滞の影響が出ているが原因と対策は。

**答** ①緊急用河川敷道路の連続性を確保するための橋梁設置工事②天端が補強されたことにより安心、歩きやすくなったとの声③降雨により染みこんだ水が蒸発する気化熱を利用して路面温度の上昇を抑制④専門的な機器を使用して測定を行うことは有用⑤松原通りが甲州街道まで開通し交通量が増加。都の渋滞緩和策事業や調布警察署と連携していく。

**他に、「空家対策について」を質問**